



新時代労研委

労使合同提言を実施!

連合群馬と群馬県経営者協会の労使合同研究委員会「新時代労研委」は、「中高年齢者の雇用のミスマッチ」の解消に向けた研究を重ね、1月24日に群馬労働局と群馬県に対し、労使合同提言を行いました。

「新時代労研委」は以前にも紹介しましたが、労使が雇用の安定・確保に関して共に協力し最大限の努力をすることを確認した「雇用安定推進宣言」を受け、県内の雇用問題に関して具体的な取り組みや政策について研究するために設置したものです。

そして今回、研究委員会では中高年齢者の再就職が厳しいという実態などから、「中高年齢者の雇用のミスマッチ」解消をテーマに議論を重ね、最終的にはハローワークの相談体制や具体的な制度の充実とPR、見直しについてなどをまとめ、群馬労働局と群馬県に対する提言に結びつけました。

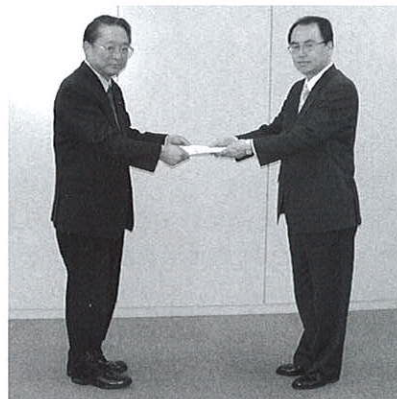
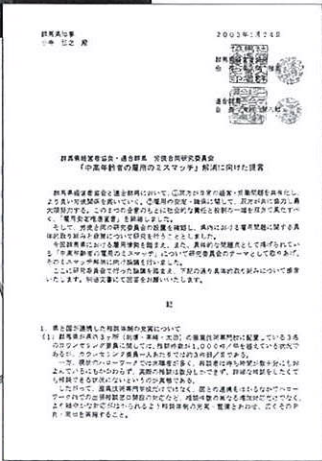
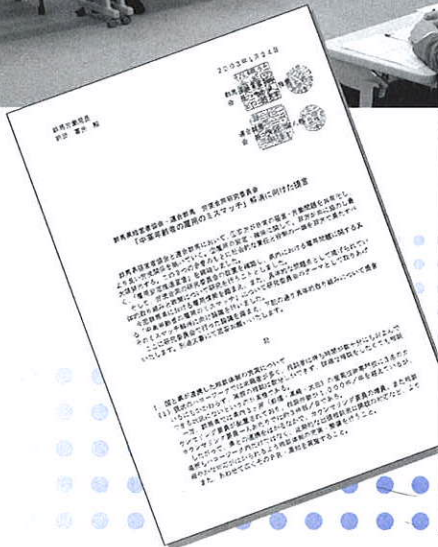
＜群馬県への提言＞
↓寺澤商工労働部長(右)に手渡す



提言を受けて労働局からは、「この提言は、群馬の労使が一体となって取り組んだ成果として重く受け止めている。県と相談する部分については、よく連携をはかったうえで、取り組みの検討をしていきたい」。そして群馬県からは、「雇用対策は新年度予算の最重点課題でもあるので、この提言を真剣に受け止め対応していきたい」など、それぞれ前向きな回答を得て、提言の具現化に向け大きく前進しました。

研究委員会としては、この提言がたんなるメッセージだけではなく、いかに実現させていくかが大切であると考えています。特に「国と県における連携」の部分で「小さくても確かなる前進を」という熱き思いがあり、今後、行政の具体的な取り組みに注目していきます。

また、「新時代労研委」は新たなテーマを掲げ、継続して労使で取り組んでいくことを確認しています。



↑宮野職業安定部長(右)に手渡す
＜群馬労働局への提言＞